



やさしいところ (思いやり Caring)

正直なところ (誠実さ Honesty)

がんばるところ (責任感 Responsibility)

大切に思うところ (尊敬心 Respect)

2017年7月1日

幼保連携型認定こども園

YMCA 保育園

7月えんだより

7月の聖句： 「天よ、喜び祝え、地よ、喜び躍れ。」

詩編96編11節

梅雨とはいえ、五月晴れの日が続いた6月でした。勝手なもので、暑い夏を思い浮かべるとつつい、雨の恵を希います。又この時期は、感染症の流行りやすい時期でもあります。睡眠や食事等、基本的な生活をしっかりと守って過ごしていきましょう。

さて、週の初めには、3歳児以上の幼児クラスは、合同礼拝で子ども達が讃美歌を唄い、園舎は子ども達の素晴らしい歌声が響いています。子ども達は、難しい歌詞も、リズムも、大きな声で唄います。礼拝の時だけではなく、園庭で遊んでいるに時に、二人や三人で讃美歌を唄っている光景は、心から嬉しそうに唄っており、こちらも何だか嬉しくなってきます。「教えられる」よりも、子ども達自らが「唄いあうこと」で覚え、唄うことを喜ぶ姿に、一人一人のもつ大きな力を感じてあります。

讃美歌には、今月の聖句の詩編から引用されたものや人間の苦境や喜び、そして神様の応答を唄った歌詞もたくさんあります。機会があれば一度、歌詞をご覧くださいと思います。

今月の聖句のあとには次の言葉が続きます。「海とそこに満ちるものよ、とどろけ、野とそこにあるすべてのものよ、喜び勇め。森の木々よ、共に喜び歌え、主を迎えて…」と。これは、地球上にあるものは、自然も人間も神様によって与えられたものであり、全ては人間が支配しているのではなく、与えてくださる神様に感謝をすることを促しているのです。「所有すること」により、私たちは喜びを感じるのも事実ですが、「与えられていること」「支えられていること」を感じるにより生きている喜びを感じることも大切なことであります。

「主において常に喜びなさい。」又「どんなことでも、思い煩うのはやめなさい。感謝をこめて祈りと願いをささげ、求めているものを神に打ち明けなさい。」(フィリピの信徒への手紙第4章)と聖書には日々の生き方が示されています。日ごとに必要なものを与えられる恵み、四季折々に与えられる自然の恵みに感謝して過ごし、夏の自然の美しさ、雨も晴れも、風も生き物も、愛でる思いを持って、喜びと感謝の思いももって過ごしていきたいと願います。

年主題 「愛されて育つ」

年主題聖句「あなたがたは神に愛されている子どもです。」エフェソの信徒への手紙第5章1節

6月	乳児 (0,1,2 歳児)	幼児 (3,4,5 歳児)
月主題	おもしろい	動き出す
月の願い	*保育者や身近な友だちと好きな遊びを見つける。 *まわりの物を見たり触れたりして喜ぶ。	*神様の創られた自然の不思議さに目を向ける。 *遊びを楽しみ中で自分の気持ちを伝えようとする。 *友だちや保育者の言動、遊びに心を動かす
讃美歌	ひとりひとりの名をよんで 幼児賛美歌Ⅱ20	虹の架け橋 川上 盾牧師作詞 作曲